

中枢性副腎皮質機能低下症診断のための新規マーカー・負荷試験の検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年4月28日 ～ 2025年3月31日

〔研究課題〕

中枢性副腎皮質機能低下症診断のための新規マーカー・負荷試験の検討

〔研究目的〕

副腎の「コルチゾール」というホルモンは、体をストレスから守る大切なホルモンです。ストレス下では脳から副腎に ACTH というホルモンが出て、その刺激で必要なコルチゾールが分泌されます。ACTH が分泌できない「中枢性副腎皮質機能低下症」という病気では、ストレス時に体調が悪化し、時には命にも関わります。この病気を簡便に診断するため、副腎から出る別のホルモン(DHEA-S)測定や、GHRP-2 を投与し反応をみる検査(＝元々は成長ホルモンの反応をみる検査)が応用できるか、過去のカルテ記録を調査することとしました。

〔研究意義〕

本研究により、中枢性副腎皮質機能低下症診断のための新規検査が確立できれば、より安全・簡便・確実な診断が可能となります。

〔対象・研究方法〕

2014年4月1日から2020年6月30日までの間に、帝京大学医学部附属病院に外来受診ないしは入院し、既存の診断法である ACTH 負荷試験と前述の検査を施行した患者様(対照群として副腎皮質機能低下症のない副腎疾患の患者様)を対象に、カルテ記録(年齢、性別、身長、体重、処方内容と有害事象、各種検査結果、併存疾患の有無・内容等)を調べます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院内科

〔個人情報の取り扱い〕

研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報は全て削除し、プライバシーは守られます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 内科学講座 病院教授 盛田 幸司

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 7164]